

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7 年 4 月 1 日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201591		
法人名	株式会社 エポカケアサービス		
事業所名	グループホーム 庚午みどりの家		
所在地	広島県広島市西区庚午北2丁目5-5 (電話) 082-271-1165		
自己評価作成日	令和7年3月13日	評価結果市町受理日	令和7年4月15日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人福祉キャリアセンター
所在地	広島市中区吉島東一丁目2番2号
訪問調査日	令和7年4月1日

### 【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「ゆっくり いっしょに たのしく」自分が年をとった時、生活したいと思える場所を想像しながらスタッフ全員で入居者の生活に関わっています。様々な年代のスタッフが知恵を搾っています。スタッフが自分と向き合い、利用者の方に思いを馳せ、接し、一喜一憂しながら過ごせる場所を目指します。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>地域サロン、町内イベントに意欲的に参加し、地域との交流が深い。散歩したり地域の人との交流ができる広い公園が事業所の近くにある。建物の窓からは山間が見え季節を感じることができ、周囲が見渡せる広い屋上でくつろいだ時間が過ごす事が出来る。利用者の思いと生活歴を尊重し、飲酒や喫煙ができる、好みの新聞を読むなど、今までと同じ楽しみの時間が持てるため本人、家族に喜ばれている。職員が入居者一人ひとりに優しく接して気持ちを汲み取り、職員間でも困りごとを共有することで改善に繋げており、事業所にいる人全員が笑顔で「ゆっくり いっしょに たのしく」過ごしている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念「ゆっくり、いっしょに、たのしく」を全体ミーティング等で再確認し、職員は日々のケアの中で心掛け、入居者様とのコミュニケーションに活かしている。	毎月のミーティングで、理念を意識してどんな行動が出来たかを職員にランダムに答えてもらうようにしている。入居者との時間をゆっくり取り時間に追われないよう意識している。職員が理念に沿った行動が出来ていると感じられる場面がある。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域サロンや地域の行事には積極的に参加させていただき、地域の方との交流を図り繋がりが深まるようにつとめている。	民生委員等地域の行事の主催者側から参加の声掛けをしてもらえるため入居者と共に出来る限り参加している。地域サロンとして施設の部屋を開放し演奏会を開く等一緒に楽しんでいる。近所の方が施設職員と顔見知りになり通りがかりや通勤時に挨拶を交わしたり声を掛けてもらっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議等において、町内会長、民生委員、利用者様ご家族、GH職員との情報共有と意見交換を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営委推進会議では、地域包括、地域の方、入居者様のご家族に参加していただき、事業所の現状報告を行い、意見、アドバイスなどあれば運営に反映している。	町内会長、民生委員等固定の出席者は自身の役割との認識で毎回積極的に参加してくれている。家族にはランダムに声を掛け色々な意見を聞けるようにしている。出席者は防災の意識が高く様々な場面を想定して自主的に意見を出し、役割分担をしてくれており施設側もそれに応えて時間を掛け、回数を重ね、慎重に協議している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	介護保険の申請手続き、待機状況など連携をおこなっている。	事故やトラブル発生時には市町の担当部署に報告、相談している。特に感染症対策については時期に応じてその都度相談している。主に管理者、フロアリーダーがすぐに相談できる関係作りが出来ている。	

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全体ミーティングで定期的に研修を行い、自覚していない身体拘束がないか振り返り、日々の申し送りなどでも身体拘束がないかの報告とヒヤリハット報告などからも身体的拘束との関連性との再確認を行っている。	アパートを改修している施設のため施錠は一般の住居と変わらない。常に動きが見渡せるよう気を配っている。スピーチロックも身体拘束に当たると言う意識が持てない事が一番恐いため研修会や委員会での都度指導、周知している。入居者の動きを制止する言葉が出そうな場面では止める前に何をしたいのかその理由を聞くよう心がけている。また危険を感じる場面でも冷静に緊迫感を与えず対応し、場を和ませて気を紛らわせる工夫もしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	外部研修や職場内研修に参加して、参加できなかった職員にも研修内容を伝達し、日々のケアにおいてフィードバックし虐待に関連する行為・行動の洗い出しを行い状況の再確認と虐待に対する再認識を行い職員間でも情報共有を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	保佐人制度を利用されている方がおられ、制度やあり方についてホーム内研修で学ぶ機会がある。		
9		契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約において十分に説明を行い、不安な点や疑問点に対しても質疑応答の時間を設け不安解消・理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会、電話、運営推進会議にて意見交換を行っている。運営推進会議後に全体ミーティングを開催し意見を共有する場がある。	入居者や家族が声をかけやすいよう忙しさを表に出さないことを意識している。特にリハビリパンツ等の排泄用品についてコストを心配する家族が多く、個別にトイレ誘導のタイミングを工夫したりメーカーにも相談する等して家族と共に考えている。喫煙が許可されており職員が屋上に付き添っているが一对一で対応してもらえる事に喜ばれており貴重なコミュニケーションの時間となっている。担当が変わっても同じ対応ができるような体勢を整えている。	

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング、申し送り、個人面談などで意見交換を行っている。また意見やアイデアがあれば、随時、ヒアリングや意見交換を行い、話し合いを行っている。	職員が管理者やリーダーに意見や相談しやすい関係作りが出来ている。勤務のすれ違いで会えなくてもメール等でいつでも連絡を取る事が出来る。最近状態が重度化した入居者を施設の時間に合わせて毎食時離床する事が本人の負担になるのではと意見が上がり、決まった時間に無理に離床せず、本人の覚醒状態や体調に合わせて食事時間を変える方法が採用された。休憩時間はしっかり取れており、資格の取得にも協力的で勤務を調整している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	月に1回の本社運営会議で管理者の意見を吸い上げ必要ならば環境の整備を行っている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本人が興味があるものやトレーニングになるような研修に随時参加させている。社内研修ではケアマネ研修、リーダー研修、キャリア研修がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	庚午地域包括支援センターと情報交換を行っている。また外部研修会に参加の際も交流している。特に、日常生活圏域における医療・介護の多職種との研修会・情報交換会には参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者に寄り添い、希望や不安なことや困ったことなどを聴き、それに応じ住みよい環境づくりに努めている。入居前に施設見学に来ていただき、施設をはじめとする介護サービス全般に対する不安なことを聞き安心をしていただくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の情報交換のみならず、そのあとも密にご様子の連絡を行ったり、質問や要望に応えるなどコミュニケーションとしやすい環境をつくり、信頼関係構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者やご家族様の意見、要望を聴きそれに応えるようケアプランを作成し支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ることを無理のない範囲でしていただくようになっている、また、思い出話し、生活面での会話の中で、入居者様との関係性を構築するように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様の支援が必要な時は、ご協力をお願いさせていただくこともある。中でも、運営推進会議には、ご家族様の出席を依頼し運営に対する理解を深める場としている。また、月に一度、お便りを出し、ご家族様が来所されたおりには、本人様との会話を大切にさせていただけるように配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様、親類、ご友人などの面会はいつでも歓迎し、ご家族様と外出されている入居者様もおられる、また、馴染みの場所、名前などをコミュニケーションに取り入れるようになっている。	馴染みの友人や入居前のご近所の仲間等が会いたいと訪ねて来たり、年賀状や手紙等を送ってくれ、主に先方からの働きかけがあって関係が継続している。自分で手紙やはがきを書けない入所者が多く、今のところ十分に返信が出来ていない。	今後、職員が代筆する等して返信の方法を工夫したり、個別に家族の了承を取りながら施設から本人の様子を伝えるなど、馴染みの人間関係を継続するための支援について検討する事を期待したい。

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様同士のコミュニケーションが円滑に行えるように席の位置に配慮している、また、職員は、入居者様同士のトラブルが起きないように、状況に応じて席の移動をさせていただいたりもしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用終了後もご家族様とコミュニケーションを取り利用時における関係性を大切にしていこう努めている。またイベントがあれば声掛けをし関係が終わらないように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との日々の会話の中で、希望や思いを傾聴し、可能な限りではあるが、ご希望に添えるようにしている。重度の方に関しては、ご家族様への聞き取りなどで得た情報を元に、寄り添うケアを心掛けている。	施設独自のフェースシートがあり入居時に好みや趣味等細かな情報の把握に努めている。生活歴もライフステージに分けて出来る限り情報収集している。入居前だけでなくその都度家族に相談して本人を知る努力がされており、直近では食事が摂れなくなった入居者の好きな物を家族に聞いてアイスクリームを食べてもらい喜ばれた。意思表示の困難な入所者でも職員は表情の違いをよく観察しており、思いを察する事が出来ている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	フェイスシートやご本人様、そのご家族様からの聞き取りや、日々の会話などから把握し、ケアに活かせる場合には、職員間で情報共有をし日々のケアにあたっている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者様のその日の体調、精神状態を把握して記録に残すようにしている、また、ミーティングなどでも情報を共有し、柔軟に対応できるように体制を整えている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者、ご家族様と話し合い、生活歴やニーズに合わせた介護計画の作成している。定期的にモニタリングを行い、意見交換を行って計画の見直しをしている。</p>	<p>ケアマネジャーは介護計画見直しのため職員に状態の変化等を詳細に聞き取りし、意見が反映されている。担当者会議の内容はその都度共有しており、個々の目標についていつでも確認できる体制になっているためそれに沿ったケアが出来ている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>心身状態を把握し、職員間で情報共有を行い速やかに対応できるようにしている、必要であればケアプランの変更も行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者様やご家族様様のニーズの把握に努め、職員間で情報を共有、話し合い、多彩なサービス、必要なサービスが提供できるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>定期的開催される地域のイベント、地域サロンに参加し、日々の生活の中で、楽しく、少しでも刺激になるような毎日を送っていただけるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診の必要性が生じた場合、ご家族様に報告、状況を説明させていただき同意を得てから受診診断をしている、また、ご家族様同行による受診の場合は、詳細をお聞きするようにしている。</p>	<p>週1回訪問看護師が入居者全員の健康観察を行っている。希望するかかりつけ医の訪問診療を受ける入居者もあり、職員と病状を共有し連携、管理ができています。訪問歯科診療もあり職員は指導のもと、入居者の状態に応じた口腔ケアを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者様の日々の心身状態を把握し、情報共有を行っている、訪問看護来所時には、入居者様個々の状態を報告、また、突発的な状態変化があった場合でも、直ちに連携がとれるような体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供し入院中でもご本人様の状態を把握できるよう病院と情報共有を行っている。治療方針、早期退院に向けてカンファレンスは必ず行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医より終末期を迎えられた方についてのカンファレンスをご家族様、管理者、リーダーを交え行うようにしている、ご家族様の意向や入居者様の気持ちを汲みとれるような対応を検討し、主治医・訪問看護・職員間で連携を取り合いながら支援している。	体調が安定しており最近一年間は施設で終末期を迎える入居者はいない。入居者が終末期を迎える時は、管理者が職員にこれから先に起こりうることを説明し、それに備えた対応を指導、心のケアも行う。主治医、訪問看護、職員がチームとなり支援している。家族の泊り込みも許可している。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルがあり、管理者・リーダー・訪問看護師と連携ができる体制を整えている、職員間では、いつでも対応可能なように情報共有は必ず行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	BCPマニュアルを作成しており、ミーティングなどで周知に努めるようにしている、また、非常用の飲料水・食料を決められた場所に保管し、簡易な食器類も準備している。	年2回実際に利用者、地域の人も参加して避難訓練を実施し、そのうち1回は消防署の指導により水消火器を使った消火訓練を行っている。地域住民が積極的に協力し日頃より自ら災害を想定した役割分担について提案されている。利用者全員の4日分の非常用飲料水、食料を備蓄しており、災害対策を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様の尊厳を守るため、自尊心に配慮した声掛けや介助を行えるように努めている、ミーティングなどでも話し合いの場を設けている。	職員は人格を尊重した声掛けを行っているが、言葉による抑制に繋がりそうな声掛けだと感じた時は、ミーティング時に話し合ったり個別に管理者に相談して、共有、改善に努めている。失敗をさりげなくフォローし尊厳を傷つけない対応を心がけている。トイレや浴室利用時は必ずカーテンを閉める事を徹底し、入居者のプライバシーを守っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様の意向を汲み取れるように意識し支援している、サロン、地域イベントへの参加は、体調や気持ちがすぐれない時は、ご本人様の意思を尊重し参加されるか決めていただいている入居者様主体の声掛けを行うようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様のペースと生活リズムを念頭に置き過ごしていただいている、体調や気持ちが優れない時は、ご本人様の意思決定に基づいた柔軟な対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者様の意思を尊重し、選べる方は、その日に着たい服などを選んでもらっている、2か月に一度、訪問理容も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者様個々の好みを把握し、体調面、体重の増減を考慮して食事、おやつを提供を行っている、職員手作りの、お菓子なども提供している、また、お盆拭き、後片付けなどをできる範囲で手伝っていただいている。	季節の食材を使った食事を提供している。入居者がお盆拭きや食器洗いを積極的に手伝っており、意欲向上に繋がっている。食欲のない日が続くと好みの食べ物を提供し食べることの楽しさを感じてもらえるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	主治医と相談の上、補食の活用や、入居者様個々の状態を鑑みて、刻み、ミキサーと食事形態を変えて提供している、水分補給も、個々人の嚥下状態を考慮して、トロミ、ゼリーと使い分け提供、食事・水分摂取量も毎回チェックし記録に残している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを徹底し、入居者様の状態に合わせて歯間ブラシ、ハミングット、口腔ケア用ウェットティッシュなどを使い分けている、週に一回の訪問歯科来所によるケアと保健指導も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご自身一人で行える方は、ご自身のペースで排泄されておられる、介助が必要な方は定期的な介助を行っていて、重度の方でも出来るだけトイレ誘導は行うようにしている。夜間に関しても同様な方法をとっている、オムツの使用に関しては、その方の意思、又は状況により使い分けている。	入居者一人ひとりの排泄パターンを職員が把握している。個々に応じた頻度や間隔でトイレ誘導を行う事でパットやリハビリパンツ等排泄用品の費用の負担軽減にも繋がっており必要時応じてメーカーに相談する事も実施している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	入居者様個々の排便リズムの把握と処方薬による排便コントロール、牛乳や毎朝のヨーグルト提供、排便期間に変化があった場合には、主治医や看護師に報告している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	予め予定は立てているが、ご本人様の体調や意思を尊重し、無理強いせず支援を行っている、どうしても気持ちに乗らない時、体調が悪い時などは、足浴、清拭で対応する場合もある。	入浴時間に定めはなく、利用者の意向や体調に留意し時間に追われる事無く丁寧に介助されている。週2回以上の入浴を基本としているが、毎日入浴したい人、今は入浴したくない人がおり、入居者の希望に添っている。入浴を拒む人や体調が悪い時は清拭を行い、身体の清潔を保っている。	

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼食後、一時間程度の午睡をとられている入居者様もおられ生活にメリハリが付きよう支援している、夜間は、ご自身の意思を尊重し就寝されておられる、支援が必要な方に関しては、表情や状態を考慮した上で就寝介助を行っている、居室の清掃は毎日、シーツ類の交換洗濯は定期的に行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局提供による服用薬品名カードを確認し薬に変更があった場合は、申し送りノートに記載し周知している、体調に変化が生じた場合などは、必ず看護師、主治医と連携をとるようにしている。また、お薬カレンダーを使用し間違いが無いように配薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の、要望があった場合、天気の良い日などは、外気浴、公園への散歩、買い物の同行をしていただいている。また、嗜好品をお持ちの方は、ご要望があれば提供させていただくようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご希望があれば、地域サロン、外気浴、公園への散歩や町内会主催のイベントなどに参加いただいている、ご家族様のご要望があれば、外出、外泊も可能な対応をとっている。	気候の良い日は職員と一緒に近所の公園に散歩、スーパーに買い物に出かけている。天候や気候により外出できない日は広い屋上を散歩し気分転換している。施設外での町内のイベントにも希望者は参加している。家族と共に毎月外食に出かける入居者もおり希望に応じて自由に外出を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	不安感やご家族様のご要望があれば、少額のお金を所持していただいている、その他の入居者様に関しては、トラブルを避けるため所持されておられない、本人様の要望があれば、ご家族様と相談し、なるべく意思に添えるよう柔軟な対応をとっている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	入居者様のご様子や心身状況などを記載した、お手紙を毎月一回、ご家族様に郵送している、携帯電話をお持ちの方は自由に使用されている、今のところ手紙のやり取りをされておられる方はいないが、ご要望があれば対応させていただける体制がある。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日付が一目で分かるように、大きめの日めくりカレンダーを設置。共有空間の温度と湿度の管理、季節感が感じられるように季節に応じた掲示物を壁に張り付けたりしている。また、トラブル予防、入居者様の身体機能に応じた席順、動線も考慮しテーブル、テレビを設置している。	職員手作りの大きなカレンダー、職員と入居者が一緒に作った季節の掲示物で季節がわかる。職員が室温、湿度の管理を行い快適に過ごすことができる。共用空間のテレビで動画共有サービスを活用し、リクエストに応じてチャンネルを選択しているため好評を得ている。職員が奏でる打楽器のリズムに合わせ、歌ったり体操して入居者全員で楽しい時間を過ごしている。入居者同士や職員ともコミュニケーションが取りやすい家具や座席の配置となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご本人のペースで出来るだけ生活出来るよう配慮している、ご自由にお部屋に帰られたり、気の合った方達は隣席にするなど考慮して席についていただいている、気分次第では特に席などは決めずご自身の好きな場所に座っていただいている、気分転換に2階ユニットの入居者様と交流を持たれている入居者様もおられる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	趣味・趣向に合わせた本をお持ちの方や、使い慣れた筆筒や物品・テレビは、ご入居時、持ち込み可能な体制をとっている、重度の利用者様にはリクライニング式の車椅子を使用し、リビングにて、皆様と一緒に過ごせるように配慮している。	白い壁、窓には穏やかな色彩の防火カーテンがかかっており、落ち着いた色調の居室で過ごす事が出来る。全室に広めの押入が付いており、家具の持ち込みがなくても整理整頓ができる。好みの写真や置物を配置し、居心地よく過ごせている。リビングで賑やかに過ごす事を好む入居者が多いが、自由に居室で休憩も出来ている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ、浴室には、大きな文字で分かりやすいように、案内表示をしている。また、各居室には入居者様のお名前を掲示している。共有空間は手狭だが入居者様が行き来されやすいように、動線を確保しテーブル、テレビを設置して、席も、入居者様の状態を念頭におき座ってもらっている。		

V アウトカム項目( 2F ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念「ゆっくり、いっしょに、たのしく」を全体ミーティング等で再確認し、職員は日々のケアの中で心掛け、入居者様とのコミュニケーションに活かしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	事業所で行われる地域サロンや地域の行事には積極的に参加させていただき、地域の方との交流を図り繋がりが深まるようにつとめている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議等において、町内会長、民生委員、利用者様ご家族、GH職員との情報共有と意見交換を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営委推進会議では、地域包括、地域の方、入居者様のご家族に参加していただき、事業所の現状報告を行い、意見、アドバイスなどあれば運営に反映している。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	介護保険の申請手続き、待機状況など連携をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全体ミーティングで定期的に研修を行い、自覚していない身体拘束がないか振り返り、日々の申し送りなどでも身体拘束がないかの報告とヒヤリハット報告などからも身体的拘束との関連性との再確認を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	外部研修や職場内研修に参加して、参加できなかった職員にも研修内容を伝達し、日々のケアにおいてフィードバックし虐待に関連する行為・行動の洗い出しを行い状況の再確認と虐待に対する再認識を行い職員間でも情報共有を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関するセミナーや講習の案内などから受講、参加を促すと共に、そこで得た情報を全体ミーティングなどで定期的に研修が行えるよう学ぶ機会を設けるよう検討している。		
9		契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約において十分に説明を行い、不安な点や疑問点に対しても質疑応答の時間を設け不安解消・理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会、電話、運営推進会議にて意見交換を行っている。運営推進会議後に全体ミーティングを開催し意見を共有する場がある。		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング、申し送り、個人面談などで意見交換を行っている。また意見やアイデアがあれば、随時、ヒアリングや意見交換を行い、話し合いを行っている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	月に1回の本社運営会議で管理者の意見を吸い上げ必要ならば環境の整備を行っている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本人が興味があるものやトレーニングになるような研修に随時参加させている。社内研修ではケアマネ研修、リーダー研修、キャリア研修がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	庚午地域包括支援センターと情報交換を行っている。また外部研修会に参加の際も交流している。特に、日常生活圏域における医療・介護の多職種との研修会・情報交換会には参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者に寄り添い、希望や不安なことや困ったことなどを聴き、それに応じ住みよい環境づくりに努めている。入居前に施設見学に来ていただき、施設をはじめとする介護サービス全般に対する不安なことを聞き安心をしていただくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の情報交換のみならず、そのあとも密にご様子との連絡を行ったり、質問や要望に応えるなどコミュニケーションとしやすい環境をつくり、信頼関係構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者やご家族様の意見、要望を聴きそれに応えるようケアプランを作成し支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ることを無理のない範囲でしていただくようになっている、また、思い出話し、生活面での会話の中で、入居者様との関係性を構築するように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様の支援が必要な時は、ご協力をお願いさせていただくこともある。中でも、運営推進会議には、ご家族様の出席を依頼し運営に対する理解を深める場としている。また、月に一度、お便りを出し、ご家族様が来所されたお際には、本人様との会話を大切にさせていただけるように配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様、親類、ご友人などの面会はいつでも歓迎し、ご家族様と外出されている入居者様もおられる、また、馴染みの場所、名前などをコミュニケーションに取り入れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様同士のコミュニケーションが円滑に行えるように席の位置に配慮している、また、職員は、入居者様同士のトラブルが起きないように、状況に応じて席の移動をさせていただいたりもしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用終了後もご家族様とコミュニケーションを取り利用時においての関係性を大切にしていこう努めている。またイベントがあれば声掛けをし関係が終わらないように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との日々の会話の中で、希望や思いを傾聴し、可能な限りではあるが、ご希望に添えるようにしている、重度の方に関しては、ご家族様への聞き取りなどで得た情報を元に、寄り添うケアを心掛けている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	フェイスシートやご本人様、そのご家族様からの聞き取りや、日々の会話などから把握し、ケアに活かせる場合には、職員間で情報共有をし日々のケアにあたっている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者様のその日の体調、精神状態を把握して記録に残すようにしている、また、ミーティングなどでも情報を共有し、柔軟に対応できるように体制を整えている。		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者、ご家族様と話し合い、生活歴やニーズに合わせた介護計画の作成している。定期的にモニタリングを行い、意見交換を行って計画の見直しをしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>心身状態を把握し、職員間で情報共有を行い速やかに対応できるようにしている、必要であればケアプランの変更も行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者様やご家族様様のニーズの把握に努め、職員間で情報を共有、話し合い、多彩なサービス、必要なサービスが提供できるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>定期的開催される地域のイベント、地域サロンに参加し、日々の生活の中で、楽しく、少しでも刺激になるような毎日を送っていただけるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診の必要性が生じた場合、ご家族様に報告、状況を説明させていただき同意を得てから受診診断をしている、また、ご家族様同行による受診の場合は、詳細をお聞きするようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者様の日々の心身状態を把握し、情報共有を行っている、訪問看護来所時には、入居者様個々の状態を報告、また、突発的な状態変化があった場合でも、直ちに連携がとれるような体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供し入院中でもご本人様の状態を把握できるよう病院と情報共有を行っている。治療方針、早期退院に向けてカンファレンスは必ず行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医より終末期を迎えられた方についてのカンファレンスをご家族様、管理者、リーダーを交え行うようにしている、ご家族様の意向や入居者様の気持ちを汲みとれるような対応を検討し、主治医・訪問看護・職員間で連携を取り合いながら支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルがあり、管理者・リーダー・訪問看護師と連携ができる体制を整えている、職員間では、いつでも対応可能なように情報共有は必ず行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	BCPマニュアルを作成しており、ミーティングなどで周知に努めるようにしている、また、非常用の飲料水・食料を決められた場所に保管し、簡易な食器類も準備している。		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の尊厳を守るため、自尊心に配慮した声掛けや介助を行えるように努めている、ミーティングなどでも話し合いの場を設けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者の意向を汲み取れるように意識し支援している、サロン、地域イベントへの参加は、体調や気持ちがすぐれない時は、ご本人様の意思を尊重し参加されるか決めていただいている入居者様主体の声掛けを行うようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者のペースと生活リズムを念頭に置き過ぎていただいている、体調や気持ちが優れない時は、ご本人様の意思決定に基づいた柔軟な対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者の意思を尊重し、選べる方は、その日に着たい服などを選んでもらっている、2か月に一度、訪問理容も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者様個々の好みを把握し、体調面、体重の増減を考慮して食事、おやつを提供を行っている、職員手作りの、お菓子なども提供している、また、お盆拭き、後片付けなどができる範囲で手伝っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	主治医と相談の上、補食の活用や、入居者様個々の状態を鑑みて、刻み、ミキサーと食事形態を変えて提供している、水分補給も、個々人の嚥下状態を考慮して、トロミ、ゼリーと使い分け提供、食事・水分摂取量も毎回チェックし記録に残している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを徹底し、入居者様の状態に合わせて歯間ブラシ、ハミングット、口腔ケア用ウェットティッシュなどを使い分けている、週に一回の訪問歯科来所によるケアと保健指導も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご自身一人で行える方は、ご自身のペースで排泄されておられる、介助が必要な方は定期的な介助を行っていて、重度の方でも出来るだけトイレ誘導は行うようにしている。夜間に関しても同様な方法をとっている、オムツの使用に関しては、その方の意思、又は状況により使い分けている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	入居者様個々の排便リズムの把握と処方薬による排便コントロール、牛乳や毎朝のヨーグルト提供、排便期間に変化があった場合には、主治医や看護師に報告している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	予め予定は立てているが、ご本人様の体調や意思を尊重し、無理強いせず支援を行っている、どうしても気持ちに乗らない時、体調が悪い時などは、足浴、清拭で対応する場合もある。		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼食後、一時間程度の午睡をとられている入居者様もおられ生活にメリハリが付きよう支援している、夜間は、ご自身の意思を尊重し就寝されておられる、支援が必要な方に関しては、表情や状態を考慮した上で就寝介助を行っている、居室の清掃は毎日、シーツ類の交換洗濯は定期的に行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局提供による服用薬品名カードを確認し薬に変更があった場合は、申し送りノートに記載し周知している、体調に変化が生じた場合などは、必ず看護師、主治医と連携をとるようにしている。また、お薬カレンダーを使用し間違いが無いように配薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の、要望があった場合、天気の良い日などは、外気浴、公園への散歩、買い物の同行をしていただいている。また、嗜好品をお持ちの方は、ご要望があれば提供させていただくようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご希望があれば、地域サロン、外気浴、公園への散歩や町内会主催のイベントなどに参加いただいている、ご家族様のご要望があれば、外出、外泊も可能な対応をとっている。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	不安感やご家族様のご要望があれば、少額のお金を所持していただいている、その他の入居者様に関しては、トラブルを避けるため所持されておられない、本人様の要望があれば、ご家族様と相談し、なるべく意思に添えるよう柔軟な対応をとっている。		

自己評価	外部評価	項目( 3F ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	入居者様のご様子や心身状況などを記載した、お手紙を毎月一回、ご家族様に郵送している、携帯電話をお持ちの方は自由に使用されている、今のところ手紙のやり取りをされておられる方はいないが、ご要望があれば対応させていただける体制がある。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日付が一目で分かるように、大きめの日めくりカレンダーを設置。共有空間の温度と湿度の管理、季節感が感じられるように季節に応じた掲示物を壁に張り付けたりしている。また、トラブル予防、入居者様の身体機能に応じた席順、動線も考慮しテーブル、テレビを設置している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご本人のペースで出来るだけ生活出来るよう配慮している、ご自由にお部屋に帰られたり、気の合った方達は隣席にするなど考慮して席についていただいている、気分次第では特に席などは決めずご自身の好きな場所に座っていただいている、気分転換に2階ユニットの入居者様と交流を持たれている入居者様もおられる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	趣味・趣向に合わせた本をお持ちの方や、使い慣れた筆筒や物品・テレビは、ご入居時、持ち込み可能な体制をとっている、重度の利用者様にはリクライニング式の車椅子を使用し、リビングにて、皆様と一緒に過ごせるように配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ、浴室には、大きな文字で分かりやすいように、案内表示をしている。また、各居室には入居者様のお名前を掲示している。共有空間は手狭だが入居者様が行き来されやすいように、動線を確保しテーブル、テレビを設置していて、席も、入居者様の状態を念頭におき座ってもらっている。		

V アウトカム項目( 3F ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

## 2 目標達成計画

事業所名 グループホーム庚午みどりの家

作成日 令和 7年 4月 7日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	友人やなじみの方の面会を受け付けているが手紙、年賀状などは受け取ったままになっている。	手紙の返信をする。	手紙を書く支援、代筆する。写真などを添えて近況を報告する。	3か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。